

留萌教育局では、今年度留萌管内オンライン研修Accompaniment40を行い、管内の教職員の皆様が常に最新の知識技能を学び続け、学校改善、授業改善に資することができるよう取組を進めております。

8月25日(木)に第4回目の研修を行いました。第5回NITS大賞優秀賞仙台市立沖野小学校の実践『見える手応え、みんなで継続～目標の焦点化と取組の共有で子供を伸ばす～』を視聴し、組織的な学校改善に係る各校の取組について交流を行いました。本号では、研修内容とアンケート結果をとりまとめましたので各所属において校内研修等にご活用下さい。

第5回NITS大賞優秀賞仙台市立沖野小学校の実践について

【目標】

- 1 目標と取組を焦点化し、全教職員、保護者、地域で共有・継続して教育効果を高める。
- 2 児童と教職員が取組の効果や改善の手応えを感じ、取組の継続意欲を高める。

【課題】

学力調査や意識調査から例年同様の課題が挙げられ、対策を立て取り組むものの顕著な改善が見られない。

課題解決・目標達成に向けた取組

1 データに基づいた実態分析と目標の焦点化

今までの分析資料の活用方法の見直しにより、傾向が認識しやすくなり、全体で課題共有を図り目標と取組の焦点化につながった。

2 取組の具体化と共通行動意識の醸成

目標が焦点化されたことで具体的な取組を考えやすくなった。ワークショップを通じてやれることをみんなで確実にやろうという機運の醸成

3 地域・保護者も主体者意識を持つ工夫

保護者に対してQRコードを活用し動画を通じて、課題の共有
地域に対して運営協議会を活用し、熟議を通じて、課題の共有

4 効果のフィードバック

中間の調査を行い、結果を可視化し教職員で共有、保護者・地域にも共有

どこの学校にもある「教育目標の形式化・希薄化」や「教職員間での取組の温度差」といった課題の改善を図った取組の実践事例。

本研修では、沖野小学校の発表を視聴し、教職員の自主性と共通行動の意識の醸成のために、また、保護者や地域の方に、共に児童を育む主体意識を持っていただくための組織的継続的なプロセスや参加者の自校における取組について交流を行いました。



※【上表】発表動画を基に作成

参加者アンケートから

今回は8名の小・中学校の先生方とともに研修を行いました。アンケート内容をご紹介します。

- 小学校教諭 他校の「家庭学習の学び方を指導する」時間の設定が参考になった。組織的に学校課題に対応していけるよう、ミドルとしての役割をもう一度見つめ直したい。
- 中学校教頭 目標の焦点化、共通理解・共通行動、チームとしての取組、データに基づいた評価・分析。すべての教育活動において大切であることを改めて実感した。
- 中学校教諭 データに基づいた目標の焦点化について学べた。改めて、学校として学力調査やアンケート結果を分析し、目標を教職員間で共有し取組を進めていきたい。また「スタディ・ログ」について交流したことから、今後、自身の授業でも取り組んでいきたい。
- 中学校教諭 学校改善の視点から、本校の取組と比較し、今後の改善点を見つけることができた。特に、目標の焦点化やフィードバックの部分について改めて確認することができことから、本校でも本研修での学びを共有しながら進めていきたい。

第5回留萌管内オンライン研修Accompaniment40について

特に、管内の幼稚園・こども園、小学校等の幼小連携やスタートアップカリキュラム等の実践事例に関心をお持ちの皆様、参加をお待ちしています

内容：幼小の連携について 9月22日(木)16:00～16:40 (※8/22(月)15:00まで)

【視聴予定動画】

第5回 NITS大賞優秀賞 京都市立楊梅幼稚園の実践

子どもの心が動く幼小接続～互いのあたりまえを越える～

参加希望の方は、管理職に相談・報告の上、申込み期日までに次のQRコードから申込みください。次回以降のZoom IDとパスコードは本資料事務連絡を参照願います。